

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 4日 更新

事務事業名		スポーツイベント開催事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	3	教育の健幸		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	渡辺 良輔
	施策	11	生涯スポーツの推進		所属課	生涯学習課	担当者名	松山 美咲
	業務分野	38	スポーツの啓発と参加機会の提供		所属班	スポーツ振興班	(内線)	1508
予算科目		会計一般	款 10	項 6	目 1	事業連番 10772	法令根拠	スポーツ基本法
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	スポーツ推進委員主催として、6月に各区対抗ニュースポーツ大会、10月にスポーツフェスティバル、翌1月にカントリーマラソン大会、3月に春ウォークラリー大会を開催。
【業務の流れ】	◆年4回実施するイベント開催まで 各大会部会にて大会概要について検討→推進委員会定例会にて最終決定→回覧・各戸配布・ホームページ・広報にて市民への参加呼びかけ→備品の準備→会場の準備→大会の開催→片付け→推進委員会にて振り返りと反省
【主な予算費目】	時間外勤務手当、休日勤務手当、報償費、消耗品費、役務費、燃料費、印刷製本費、委託料、使用料および賃借料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

【目的】市民が気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを行う。
 【内容】年4回スポーツイベントを開催する。
 【実績】・6月15日：各区対抗ニュースポーツ大会(31区、420名参加)・10月12日：スポーツフェスティバル(195名参加)・1月11日：カントリーマラソン大会(545名参加)・3月22日：春ウォークラリー大会(80名参加)
 【成果】事故なく各イベントを開催することができ、多くの市民に参加いただいた。市民のスポーツへの意識向上に寄与することができた。
 【基準に達しなかった理由】各スポーツイベントの消耗品において当初見込みより執行額が少なかったため不用額が生じた。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

・5月に各区対抗ニュースポーツ大会、10月にスポーツフェスティバル、1月に健康カントリーマラソン大会、3月の春ウォークラリー大会開催を予定。10月のスポーツフェスティバルでは、体育の日を中心に市内の各種目協会等の主催での大会も実施。
 ・7年度は各大会に「市政20周年記念」の冠をつけて開催。健康カントリーマラソン大会は、ゲストランナーを招いた大会とする。

③予算の主な増減の理由

【拡充事業】市政20周年記念大会開催に伴う委託料の増

成果指標	(単位)	データ取得方法
参加率	%	

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	参加率	%	1.5	1.5	2.4	1.9	2.4	2.4	2.4	2.4
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	228	190	510	333	700	700	700	700
	繰入金	千円								
費	一般財源	千円	1,062	1,075	1,642	1,113	1,121	1,121	1,121	1,121
	(A)事業費計	千円	1,290	1,265	2,152	1,446	1,821	1,821	1,821	1,821

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

開催時期である10月は多くの大会が予定され、場所の確保・各団体の調整が必要である。また、参加賞などの無駄がでないように、早めの募集等が必要である。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)